

Domaine Ponkotsu

新着ワイン情報



おやすみなさい 2020 (ロゼ泡)

今年の造りの特徴は干しブドウになったピオーネを使っていること。藤稔とピオーネを絞って、そこに干しブドウになったピオーネを房ごと5日マセレーション。プレスして巨峰と甲州とヴィフェラの果汁を追加。数回重たい澱をひいて適度な残糖で瓶詰し、アンセストラルで瓶内発酵。狙い通りリリース時点で1.5気圧とすることができた。干しブドウを使用したことで潜在アルコール度数がかなり高い数値となったため、味わいのバランスをとる目的

で甲州を使用した。そのため、アフターにキュッとした酸があるが、おやすみなさいらしい緩い酒質は健在。よって今年めめでたくおやすみなさいのキュヴェ名でリリースできることとなりました。

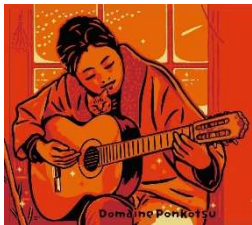
※発泡性のワインです

上岩崎 (かみいわさき) : 甲州市勝沼町上岩崎。棚仕立て。品種は巨峰。

小佐手 (おさで) : 甲州市勝沼町小佐手。棚仕立て。品種は巨峰、ピオーネ、甲斐路、デラウェア、甲州。

千米寺 (せんべいじ) : 笛吹市一宮町千米寺。棚仕立て。品種は藤稔、甲州。

藤木 (ふじき) : 甲州市塩山藤木。垣根仕立て。品種はメルローとプチマンサン



まどぎわ 2020 (醸し)

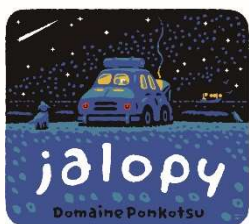
デラウェアを樽発酵。甲州をプレスしタンクで発酵させているところに、3週間後房ごと甲州を投入し10日間後プレス。11月にデラウェアと甲州を合併。房ごと投入した甲州が液に漬かっていないところがMCになっているので、その効果かワインは明るく香り高い。味の構成は、デラウェアの果実味を甲州の酸がまとめていて、シンプルでありながらスムーズで丸くバランスが取れている。収穫を年々遅らせ適期を見極めていたため、難しい年であり

ながら前年よりもややふくよかな味わいとなっている。

小佐手 (おさで) : 甲州市勝沼町小佐手。棚仕立て。品種は巨峰、ピオーネ、甲斐路、デラウェア、甲州。

大泉 (おおいずみ) : 勝沼町下岩崎大泉 棚仕立て。品種は甲州、デラウェア。

山田 (やまだ) : 甲州市上岩崎山田。棚仕立て。品種はデラウェア。平地。



ジャロピー 2020 (醸し)

収穫期を二つに分けたデラウェアと少量のシュナンブランを使用している。早めの収穫の山田と小佐手のデラウェアの果汁を樽発酵。そのほかを2週間後に収穫し除梗破碎し10日間タンクでマセレーション。その5日目にシュナンブランを果帽の上に房ごと投入しMCをしている。

シュナンブランが少量ではあるが大切な要素となっていて、モノセパージュのヴィンテージよりも複雑な構成となっている。前年から遅摘みのデラウェアを試していて、松岡氏の表現する独特な色気を感じるワインとなってきている。年々滑らかなまとまりのある味わいになっているので、今後数年かけて熟成によりむき出しになったリッチな果実味が出てくるのが楽しみだ。

山田 (やまだ) : 甲州市上岩崎山田。棚仕立て。品種はデラウェア。平地。

内藤 (ないとう) : 甲州市上岩崎内藤。棚仕立て。品種はデラウェア。平地。

小佐手 (おさで) : 甲州市勝沼町小佐手。棚仕立て。品種は巨峰、ピオーネ、甲斐路、デラウェア、甲州。

大泉 (おおいずみ) : 勝沼町下岩崎大泉 棚仕立て。品種は甲州、デラウェア

水口 (みずぐち) : 山梨市水口。棚仕立て。品種はデラウェア、一文字でシュナンブラン、ソーヴィニヨンブラン

ヴィンテージ情報 生産者コメント

2020 山梨 (峡東エリア)

1月から3月の休眠期は平年に比べると暖冬であった。平均気温は2019より1℃~2℃高く、降雨量も多かった。ブドウの生長期(4月~5月)は適雨、多照で順調に成長し多収が予想された。しかし、6月中旬から7月に多雨で寡照の日が続き、好気温であったが、ベト病等も発生し果実の成熟遅延が見られた。特に7月の降雨量は観測史上最多となり2019年の3倍もの降雨となった。8月(成熟中期)は降雨が極少で日照が平年比125%と回復し、9月上旬まで日照、気温は上々に推移した。しかし、糖度上昇はやや緩慢であった。9月中旬以降、日本列島は秋雨前線が停滞したが、少雨、やや寡照で経過した。

栽培ブドウの状況

デラウェア

生育が遅く、収穫時の糖度は例年より1~2度低め出の収穫となった。

目立った病気はなかったが晩腐病が少し見られた。

甲州

ベト病が出た畑とほとんど出なかった畑の2つに分かれた。ベト病が出た畑は晩腐病も少し出た。糖度の低さはあまり見られなかった。

巨峰、ピオーネ、藤稔

開花期にベト病がでたが治まった。ヴェレゾン期に入ると急速に晩腐病が出始め、割れて腐敗する畑と、そのまま干し葡萄状態になる畑に分かれた。

ヴィニフェラ

ベト病が多く見られ、収穫期に入ると晩腐病がかなり見られた。